



第4号 ご挨拶

新年好！中国での新年の幕開けです。ホワイトカラーの生産性の向上に注目が集まっています。日本では、官民を上げての働き方改革に対する取組みが進んでいます。AI やテクノロジーなども活用して、私たちの仕事の質を上げていく環境が少しずつ整いつつあります。中国子会社の事業展開においても同様で、効率性を追求することで、経営のスピードを上げ、市場のニーズに対応できるような体制整備が求められています。従来の取組みとは異なるアプローチが有効な手段になりつつあり、第2号に続いてご紹介するRPA (Robotic Process Automation) も、その選択肢の一つとして検討に値するソリューションです。これは一つの流れです。ハッキングへの対策などサイバーセキュリティの問題はありますが、それは対処しなければならない明らかな問題であり、流れに逆らう理由にすべきではありません。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. 仮想的労働者 (Digital Labour・RPA) の日本企業への導入による今後のホワイトカラー業務の姿

前々回の第2号では、RPAの歴史、RPAの3つの段階、RPAがもたらす変革をマクロな観点から紹介しました。このなかでRPAの段階1に関しては、オフショアでのシェアードサービス・アウトソーシングが成熟している欧米市場において、さらなる改善を実現するための新たな概念として着実に普及しています。とくに事務処理業務を中心に、大きな改善効果を創出している事例は少なくありません。一方、日本市場の場合、少子高齢化に伴う労働人口減少問題の解決の糸口に、また疲弊している現場の従業員を定型作業から解放し、高度な業務へシフトさせる可能性を秘めています。今回は、RPAの段階1に焦点を当て、これまでの自動化と比較した際の特徴、詳細な導入アプローチ、日本市場における導入事例を踏まえ、効果および留意点を具体的に解説します。

> [全文はこちら](#) (日本語解説)

2. 中国のライフサイエンス：CEOの視点(1)

中国のライフサイエンス産業にとって、この10年は輝かしい発展の時期だったと言えるます。2006年から2011年にかけて中国の医薬品市場は毎年15%~30%の勢いで成長しました。その後、成長率は若干衰え、2012年~13年には10%台後半まで下がりました。直近2年間はさらに困難な時期を迎え、2015年の成長率は、一桁台に落ち込みました。この低成長状態は、今後も続きそうです。原因の一つとして、中国経済が新常态に入ったことが挙げられます。また規制の変更、特に2015年半ばに導入された医薬品入札手続きの改革も関係しています。

こうした状況にもかかわらず、本レポートでKPMG中国がインタビューしたエグゼクティブの多くは、中国におけるライフサイエンス業界の長期的見通しを今も楽観視しています。医薬品販売に至るまでの中国の承認手続きの長さ、低価格政策の継続、より厳しくより複雑になった規制など多くの難しさを指摘する一方で、企業にとっての多種多様なビジネスチャンスも視野に入れています。高齢化し、ますます豊かになった市民の要求に応えるため、中国政府はヘルスケア関連支出の増額を宣言しました。この分野に自

由競争を導入することにも意欲を示しています。ヘルスケア部門で最先端の革新的開発を主導しているグローバル企業は大きな恩恵を受けることができるでしょう。

> [全文はこちら](#)（日本語訳：みずほチャイナマンスリー2016年10月号 P.15～21に掲載）

> [全文はこちら](#)（英語）

3. 2016年 世界経営者会議 KPMG セッション

KPMG ジャパンは、2016年11月8日、9日に東京で開催された第18回日経フォーラム「世界経営者会議」を特別協賛しました。「勝ち抜く企業の条件」をテーマとした本フォーラムでは、各国のトップがイノベーションの創出を強調しました。その中で、KPMG インターナショナル チェアマンのジョン・ビーマイヤーも「トランスフォーメーションで現状を打破する」と題して登壇し、フィナンシャル・タイムズ 国際金融主席特派員であるヘニー・セnder氏と、テクノロジーによる事業モデルの変革、自動車業界における急速な変化、M&Aの留意点、AIの可能性などについて対談を行いました。

> [全文はこちら](#)（日本語）

Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247)（日本語可）